

[3]

広報

# のほろへつ

市の人口



11月末現在

総人口	53,823 (121増)
男	26,773 (67増)
女	27,050 (54増)
世帯数	16,249 (56増)

( )内は前月との比較増減

○No. 248 ○昭和53年1月1日発行 ○編集発行/北海道登別市総務部公聴広報課 ●印刷/中西印刷

—初春の琴の音色に魅せられし—内海奈保美さん(常盤町2-28)左と阿部悦子(視別町7-7)右



1 1978  
1.1

15 合併号



# あけましておめでとうございます



## 魅力あるまちづくり積極的に

登別市長 田村 仙一郎

市民のみなさま、明けましておめでとうございます。昭和五十三年の新春を、みなさまと共に祝いでございます。昨年の本市は、市民のみなさまのご協力・ご支援により、国鉄札幌駅の増設築造工、道立高等学校の新設、青葉小学校の開校、登別温泉幼稚園、働く婦人の家の建設等々を重点事業として実行し、豊かで暮らしよい都市をめざして新しい一ページを記したところであります。しかし、一方では、世界的な経済変動の余波をうけ、物価の上昇、あるいは雇用不安等々に端を発した諸問題が、市民生活の上に大きく影響を及ぼし、さらに有珠山噴火による形容を絶する被害に見舞われる等々、我々を取り巻く環境は激動と試練との連続でした。

さて、本年は景気の動向がいまなお、流動的である社会情勢の中で依然として厳しい行財政の運営を余儀なくされるものと予想されますが、この時にこそ、自治体の権限と能力を最大限に発揮して、市民生活を守ると共に、五万四千市民のみなさまの英知と創意を結集し、限られた財源を有効かつ高率に活用して、行政を停滞させることなく、魅力あるまちづくりに邁進しなければならぬと考えます。

このため、私は登別市総合基本計画との関連性、事業の緊急性、事業効果等を十分考慮し、さらに景気の回復に資することを重点に、義務教育施設整備、市立幼稚園建設、婦人研修の家建設、運動公園等の整備、市営・一般住宅の建設促進、ごみ処理施設の推進完了等の事業を、懸案事項として掲げるとともに、お年寄り、心身障害者、母子家庭、遺児等社会的に弱い立場におかれている方々が、生きがいをと希望のある生活を、送ることができるよう福祉施策を、より積極的に推進して参りたいと存じます。輝かしい年頭にあたり、市民のみなさまにおかれましては、さらに思いを新たにされ、登別市の限りない発展のために、一層のご精進をお願い申し上げます。

市民のみなさま、ご健勝とご多幸を心からお祈りして、こあいさつといたします。



## 適正審議で福祉充実に全力

登別市議会議長 室久吉

市民のみなさんあけましておめでとうございます。年頭にあたり、今年も皆様方のご多幸と一層のご繁栄をお祈り申し上げます。昨年を振り返りますと、皆様方におかれても地方自治体にとっても、多事多難であったことを痛感いたします。

わが国経済は、国際的な通貨波乱が続く中で、経済政策の転換、さらには引き続く景気停滞によって、経済は混とんとしております。市民生活におよぼす影響も、一段と深刻化しております。

さらに昨年は、有珠山噴火による被害は、広範囲におよび、農業をはじめ市内経済に大きな痛手を与え、歴史的と言われるこの災害は、記憶に生々しいところです。

ご承知のように、当市は著しい都市化現象とともに、人口の急増を招いていますが、これに伴い、生活環境整備に最大の努力がはらわれ、活気あふれる豊かなまちづくりが、積極的に推進され、誠にこの同慶にたえません。

しかしながら、今日の市内外をとりまく諸問題は、前途に横たわっており、地方自治体の努力にまつ課題は、枚挙にいとまがありません。私たちは、これらの問題をとらえ政府、国会に強力な実行運動を展開し、登別市発展につながる重要課題の解消をめざし、能力をあげて力強い第一歩を踏み出すことを、年頭にあたり誓いたいと思っております。

さらに、市民福祉の向上をめざす諸政策は、市政のうえで最大の配慮が払われるべきであるという私の考えは、不動であります。

また、私ども議会にたすきされる者としての責務は、このような変化の激しい時代においては、特に重大であり、適正な審議を通じて福祉充実に全力を注ぎ、安定した市民生活の基盤を確立して、五万四千市民の負託にこたえる決意であります。

祈しい年のはじめにあたり、所信の一端を申し上げたいといたします。



### 冬道の交通安全

- 遠出の時はタイヤ、チェーン、スコップなどの用意を
- 仕業点検は念入りに、とくにすべり止め装置の再点検
- スリップを計算に入れた車間距離を



あけまして、おめでとうございます。市民のみなさまに対する、議員個々の年賀状の差し出しは、議員会の申し合わせにより自粛させて頂きました。登別市議会議長一同



随想

ふるさと

— 遠い記憶 —

佐々木 登



もう遠い記憶になってしまっ

た。それが小学校の何年生であった

のか、誰と誰が一緒だったのかも

思い出せないが、たぶん五人ぐら

いの仲間だったと思う。たしか七

月ごろの暑い日の出来事で、その

日は学校が何かの都合で一時間ぐ

らいで放課になった。

わたし達はいつものように、電

車軌道の下の道を、だらだらと道

草をくいながら話し合っているう

ちに「これからクッタラ湖に泳ぎ

にいこう」と誰いともなく話が

決まった。



と言葉を残して急いで約束の地点

に集まった。みんな泳げるので水

の感触を想像してはわくわくして

いた。クッタラ湖への道は今の熊

牧場のケープルの下にあつて、急

傾斜面をじくざくに作られてい

た。わたし達は早く頂上にたどり

着きたい一心で汗をぬぐいながら

登った。樹間を透してこぼれ陽が

道に縞模様をつくり、草いきれの

匂いが、むんむんしていた。

頂上に到達した時、吹き渡る風

が心地よくわたしの汗をぬぐっ

てくれた。遠くはてしなく海原が

続き海岸線の白い渚とそれに沿う

市街がきらきらと映えて光ってい

た。尾根を少し歩いたら、先頭の

誰かが「クッタラ湖が見えた」と

叫んだ。後の者も急いだ。嬉しく

てみんなお互いに顔を見合った。

それから歌を大声で唱ったり

して走りながら降りていった。い

くら降りても湖がそこに見えてい

るのに湖畔には到達しないので少

しくいらいらしたりした。やがて

最後のカーブを廻ったら湖畔が開

けた。わたし達は喚声上げて走

った。湖は陽に映

えながら、いつも

の静もりを維持し

ながらわたし達を

迎えてくれた。わ

たし達はもう全て

が満足で、早速裸

になって水浴びを

したり、渚を思い

きり走ったりし

た。静もりの湖畔

にひとしきり少年

たちの喚声が響き

わたった。

間もなくわたし

達は重要なことに

気づいた。誰も弁

当の用意をして来なかった。家の

者に留められるのを恐れて、素早

く家を飛び出すことだけを考えて

いた。すでに正午を過ぎる時間

で、無性に空腹感が各自を襲った。

わたし達は集まって自分達の軽率

であったことを少し悔いた。泣

きたい気持ちになった。今からこ

の空腹で帰ることも出来ず、お

互いに「どうする、どうする」と

相手の顔をのぞき込んでいた。残

されたことは湖の管理人の長尾さ

んのおばさんにお願ひに行くこと

しかなかった。しかしわたし達は

誰もおばさんを知っている者がな

かった。おばさんは街でも見られ

ない洋服で、時折買物に馬に乗っ

て現われるという方だったから、

わたし達には、外人のような神秘

な感じのおばさんと受取られてい

た。ジャンケンで負けた者が頼み

に行くことにしようとしたが、困

るといふ者もあつて、みんなで靴

をしのび勇氣を出してお願ひに行

った。「今日うっかり弁当を忘れ

て来ましたが、お腹が空いてならな

いのですが、今度来るときお米を

お返ししますから、御飯を炊いて

くれませんか」と恐る恐るお願ひ

した。おばさんはわたし達の話を

じいっと聞いてから、みんなの名

前を聞き一人一人にうなずいてく

れた。そして「今度は家の人なき

ちんと話をして来るのですよ」と

言ってから、「これから炊くから

少し待ちなさい」と言ってくれ

た。わたし達はみんなすごく安心

した。また水浴びをしようとした

が空腹で前のように騒げなかつ

た。みんな話をしていたら、誰

かが「誰か来る」と言った。顔を

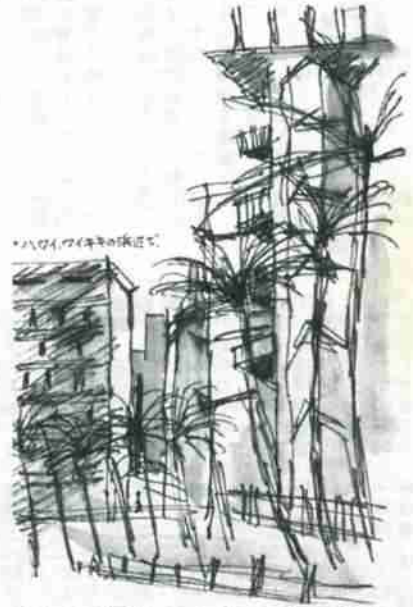
上げてそちらを見ていたら、それ

は父であった。近づいてきて「弁

当を持って来たよ」と笑顔でいっ

た。何か嬉しくて何にもいえない

っか。やがて長尾さんのおばさん



ご本人が旅行先のハワイでスケッチした作品です

と父が何か笑いながら立話をして

いるのを、今は全ての不安が解消

したゆつたりとした気持ちで遠く眺め

やりながら小白水切りを楽しん

でいた。

あれから五十年

時折、もの忘れをするようにな

ったけれど、しかし不思議に記憶

というものはいっこうに色褪せな

佐々木 登氏

観別中学校々長。登別市小中学校校長会々長。大正七年四月に  
登別温泉町に生まれ、明治大学商学部卒業。いすず自動車入  
社、旭川七師団入営を経て、昭和二十七年教員として伊達中に  
勤務。以来、伊達市関内中の教頭、観別町仁和中の校長、苫小  
牧市啓北中の校長。そして、昭和五十年に観別中学校々長とし  
て着任。現在に至る。  
趣味は、絵画・テニス。ご家族は娘さん二人が嫁いで、奥さ  
まと二人暮し。お住まいは、市内中央町七丁目三十六番地。



# 新しい年にかける希望とまちづくり

## 昭和53年、市長を囲む新春座談会

### ご出席

- |          |        |        |       |     |      |        |               |
|----------|--------|--------|-------|-----|------|--------|---------------|
| 湯青老町人権委員 | 人年人会議員 | 志飯和工星  | 賀島弥藤  | 京平角 | 子武次蔵 | さんさんさん | (富中(富(新(登別温泉) |
| 観光人権委員   | 登別市長   | 高橋昭吾   | 田村仙一郎 | 昭吾  | 吾一   | さん     |               |
| 司会       |        | 公聴広報課長 |       |     |      |        | 千葉、勲          |



座談会風景

新しい昭和五十三年を迎え、六人の市民代表に、登別市の、将来の課題とまちづくりの構想などについて、田村市長をかこんでお話しをしていただきました。

この新春座談会は、市長応接室で、約二時間にわたって開かれ、市民会館、水資源開発と財政問題など、次々と話題が展開されました。



高橋昭吾さん

市長 みなさんあけましておめでとうございます。新年早々お忙しいところ、おいていただき、ありがとうございます。今日は、「新しい年にかける希望とまちづくり」というテーマでみなさんとの座談会ですが、どうぞよろしくおねがいいたします。

それでは、早速お話を進めていきたいと思っております。

今年はどうな年になるか、ということ、新しい年にかける期待と希望を誰ものがもち、市政に対する期待と関心も切実なものがあるわけですね。そこで、この点からお話しをはじめていただきます。

高橋 田村市長の就任以来、めざましい発展を続けている登別市です。道路舗装をはじめ、市政全般に、きめ細かな施策が、実現しています。特に、昨年は道立高校の誘致、市民待望の耳鼻咽喉科病院の実現のめどもついて、公営住宅の建設も進んでいます。

任期後半のこれからの課題は、市長 私は、将来のまちづくりに夢をもちています。

例えば、登別市は今、温泉という世界的に知られた観光資源をもっています。温泉だけでは、登別市のイメージアップは図れない。

環境、教育、福祉など、あらゆる面で、道内一を誇れるよう努力前進し、新しい特色を創造していきたい。そして、登別温泉を初めとする自然環境を基盤とし、充実している国立、年金、北大、三愛などの医療施設を中心に、これに都市基盤整備のまちづくりが一体となり、広大な土地を利用した「健康調整の都市」として、個性豊かなまちづくりを進めたい。これが私の大きな夢です。

高橋 西ドイツのバーデンバーデンとい



飯島武さん

う都市には、娯楽と社交、そして温泉療養を目的とした、温泉療養公園があり、すので、ぜひ市長に現地を見てもらい、登別市に合った健康調整のまちづくりをご検討いただきたい。

和田 市長就任以来、老人憩の家建設、老人農園など、積極的な施策により、私たち老人クラブの活動が全道的にも、全国的にも知れ渡り、大変うれしく思っています。

また、市内各地には集会所が数多く建設され、地域活動の場として、たくさんの人々が利用していますが、さらに進んで、市民会館の建設計画についてお伺いしたいのですが。

市長 市制施行十周年を迎える、昭和五十五年、市民会館建設をというところで、建設基金制度を発足させましたが、みなさまのご理解とご協力によって、予算をオーバーする基金が寄せられています。これからは、基金を多く集めなければなりません。多目的使用で三千人収容の規模で、いま、構想を練っています。

経済的あるいは、技術上の問題もありませんので、これらを解決しながら、ぜひ昭和五十五年には期待にこたえられる立派な、市民会館を建設したいものです。

志賀 若山町一帯に、一大運動公園を建設するという、大規模な構想があると聞いています。

市民みんなが楽しめる、健康とスポーツのまちづくりに強い期待がよせられています。

市長 市民みなさまのご協力によりまして、生活環境整備、福祉、教育など、さまざまあった調子で進んでいます。から、将来は総合運動公園を若山町一帯に、実現させて、昭和七十年代の人口十万人に対応できるように、野球場、陸上競技場、



志賀京子さん

### 落雪防止にご協力を

積雪の季節になりますと、落雪等による人身事故がおきています。

これらの事故を未然に防ぐために、道路または、隣地の境界に接近して建てている建物については、屋根の雪止めの点検、雪おろし等を、常に注意し、落雪防止にお互いが心がけましょう。

また、この時期は火災等の災害も多発していますので、落雪防止と合わせて、家の周囲の除雪をし災害時の避難路を確保するように、お互いが協力し合いましょう。

(建築部建築指導課)







星 肇さん



工藤 角蔵さん



和田 弥平さん



市長・田村 仙一郎

サッカー場などのほかに要所には、小動物を配置し、子供や婦人にも気軽に利用してもらいたい。

また、災害時の避難場所としても活用できるものを考えています。

司会 青年会議所として、昨年は交通安全思想の普及、街の中にフラワーポットを配置したり、市民の森にアズミ屋を造るなど、非常に幅広い活躍がみられます。新しい理事長として、何かお考えは、

飯島 登別小学校のPTAとして昨年、市内の施設めぐりをした折札内にある千歳浄水場を見学したのですが、大変に大きな施設で、しかも、水は全部室蘭市へ行っているということでした。

市内には、水資源があるとは言っても、人口が増加する登別市も将来は、十万人都市も夢ではないといわれ、今から対策を考えておかなければならないと思います。

また、昨年来新聞で報道された、室蘭市との、水の問題についてお伺いしたいのですが、

市長 登別市内には、大きな五本の川が流れており、水利権はほとんどが日鋼、新日鉄、室蘭市にあります。登別市は三万三千人の水利権しかないため、将来人口が十万人として、一人五百坪使用すると考えると、五万坪の水利権がどうしても必要です。そこで、千歳川から馬川上流に、水利ダムを造ろうと、今積極的に調査を進めており、可能性が有ります。そして、十万人規模の水利ダムを建設し、ここから必要量を取って、室蘭市にも分水しなければならぬと思っています。

新聞に載った水の問題ですが、あれは、長谷川室蘭市長の真意ではないと思っています。(知事に調停を申し入れること等)

ことの起りは、昔室蘭市が千歳川から取水する時に、登別市との水利協定を交わしたのですが、登別市にも水を供給するため、配水管を布設するということが、登別市が一、十四の分水料金を支払う約束をした。ところが、室蘭市は配水管を登別駅前から登別小学校までを布設しただけで、その後は、一切、登別市独自の努力によって、配水管を布設しています。それなのに、分水料金をどんどん値上げするといわけてから、納得できない所があるとして、政治的解決を図るため、長谷川市長と話し合いを続け、

大筋の合意を得ていたわけですが、その後事務段階でのやりとりが、原因と思っますが、あのような事になり残念に思っています。

志賀 水の問題が出たところで、マイホームの事なんですが、誰でも一生のうち、自分の家を持ちたいと、夢をもって働いています。

しかし、年々の物価高と、用地が限られているため、ますますむすむすかしくなっています。

住宅用地の供給につきまして、何か考えておられますか。

市長 みなさんの夢を、何とかして実現してあげたいと思っています。しかし、市自体は土地を持っていません。そこで、市内の土地所有者の理解を得なければならぬ。土地所有者にもいろいろ有って、生産性のない土地をもつて、税金を払うにも苦労している人もいます。土地は有効的に活用しようということで、地主から市がその土地を借りて、市は市民にまた貸して、宅地として供給する。今年から、レンタル方式の安い価格で、住宅を建ててもらおうと計画しています。

飯島 昨年、市民世論調査を実施され、市民本位の市政に取り組んでいることが、良く理解できます。

ところで、これからのまちづくりの方向は、調査結果にもとずき「福祉都市」への指向となりませんか。

市長 有権者千人を調査対象として、行った世論調査は九一・二％という良い回収率で、信頼性の高い調査ですから、結果として出ている「福祉都市」などへの、市民の強い要望は、ぜひかなえていかなければならないと思います。

特に、精神的な面で、福祉活動は大切ですから、市民みんなで推進していきたいですね。

星 市が世論調査に踏み切ったことは、非常に勇気があり、好感をもって調査結果を読ませていただきました。

司会 町内会長、人権擁護委員などの公職などにつかれ、市政に詳しい立場にある星さんに、住民福祉と財政問題について、お話を展開していただきたいのです。

現在、不況の中で、各種企業の倒産などが、社会問題となって毎日、新聞をにぎわしています。

人件費、物件費が増える一方、税収は

伸びず、財政硬直化の地方自治体は、どこも大変な苦勞をされているようです。

幸い登別市は黒字経営と聞きますが、市民の側で、最も恐れることは、財政硬直という、現象面のみを見て、市民要求を切り捨てまちづくりに足だめをかけることですね。幸い、田村市長は、先取り政策を積極的に実施しているため、私たちが、満足し、信頼しています。それだけに、苦勞もあるのではないのでしょうか。

市長 市民優先の市政が基本です。不況の中でこそ、百分の力を発揮して、積極的な健全財政を堅持しながら、市民の幸せを、企業経営的感覚で高めていきます。

登別市は、財政運営面で、危機はなく、市民の負担増といった心配はありません。また、市内の景気浮揚とまではいけませんが、市内業者にも多くの仕事が配分されています。

司会 富岸地区の連合町内会設立など、町内会長として地域の市民生活向上に積極的な活動されている工藤さん、市政と住民参加について、何かお話を聞かせていただけます。

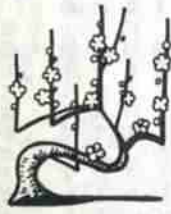
工藤 地方自治といえは、市民自らが構成員となり、市に行政処理を委任する形をとっている訳ですが、いつのまにか、市にやっってもらう、市民はお客さん、という錯覚をおかしている場合があるように思います。

私は、まちづくりに、自ら参加する行動によってこそ、住み良いまちができて、郷土愛が育っていくものと思います。

市長 各地区の市政懇談会に行ったり、婦人との対話の中でも、市政に自らすすんで参加することは、自分達の生活を良くすることであり、税負担の軽減にもつながるものであることを、話し合っています。ゴミを少なくすること、除雪に努力をおしまないことなども住民参加なのです。

このことを自覚し、実践することは、本当に大切ですね。

司会 それでは、長時間ありがとうございました。



### 除雪作業にご協力を

冬の交通確保にとって、除雪作業は、最も重要であることは言うまでもありません。

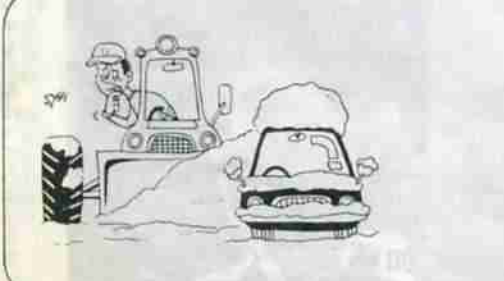
そして、その作業は、迅速かつ効率的に進めなければなりません。

このため、次の点にご協力をお願いいたします。

- 路上駐車は絶対やめよう。
- 路上駐車によって、車の周囲に雪が残るだけでなく、吹雪の時や夜間には、事故の原因になります。
- 歩道や車道に雪を捨てないようにしよう。
- 路上でのスキーやソリ遊びは止めよう。
- 道路に器物や商品を置かないようにしよう。

なお、除雪後に家の前等に雪溜りができますが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

(土木部土木課)





# うま 午年生まれ七代が語る、今年の抱負



荒川淑人さん

**荒川 淑人さん** 昭和29年8月1日生/自営業 緑町2/8

「今年は勝負の年」そう思っています。昨年、念願の店を開くことができ、三段跳びで言えばホップ、そして今年にはステップ、天馬のようなジャンプを目標としてガンバリたいと思います。今年二十四歳になります。来年は二十五歳、年齢を四捨五入するのはおかしいですけど、来年は三十と言うことになりませんかね。

ですから、青春に悔いのないように、失敗なんて恐れないでがむしゃらやります。

ただ、不況ムードが漂っていますから、自分のカラーを生かした特色のある店づくりを考えています。



菱田康郎さん

**菱田 康郎さん** 昭和17年9月22日生/自営業 登別温泉町78

温泉生まれの温泉育ち、私で三代目になります。どちらも温泉につかって生活してきたせいか、ノンビリムードなんです。今年も私も年男ですから創意と工夫、そしてマイペースで自分の年をしたいと思っています。幸せな事に、昨年は親身になってアドバイスをしていただけの友達が出きましたので、大変心強く思っています。

昨年は、有珠山噴火や不況の影響でお客様も減りましたが、今年こそ、なんとか売り上げを伸ばしたいですね。

**堀合 善蔵さん** 大正7年6月8日生/商業 登別東町2/26/1

健康だけは誇りをもっています。これまで大きな病気にかかったことはありませんからね。

今年、還暦を迎えるので、商売も息子に譲って、これからは少しノんびリしたいと思っています。

ただ、趣味とか娯楽には縁がなかったものですから、やっぱり商売ですか。まあ、息子を手伝うような形でやりたいと思います。

最近では、お客様の商品知識も豊富になってきていますからね、そう言った面も考え、できるだけ良い品物を安く仕入れ、そして安くお客様に提供していきたいと思っています。



堀合善蔵さん



松本裕子さん

**松本 裕子さん** 昭和41年12月16日生/幌別西小五年 富士町7/46/3

昨年一年間の思い出は、室蘭のおばさんに可愛い赤ちゃんができたことと、ピアノの発表会に初めて出て、緊張して足がガタガタ震えたことです。

今年是最上級生になりますから下級生のめんどろを見て上げるとか、全学年に目を向けていきたいと思っています。勉強もだんだんむずかしくなってきたからがんばらなくちゃ、もちろんピアノも続けていきます。

**加藤 荘志くん** 昭和41年6月18日生/幌別西小五年 片倉町5/18/2

今年の目標は、胆振地区の剣道大会に出場することです。去年は苦小牧で開かれましたが、補欠でしたから、今年こそは正選手で出たいと思います。

勉強の方は好きな理科、社会を



加藤荘志くん

今年もがんばってみようと思っ



**石亀 弥紋さん** 明治39年10月10日生 / 無職 柏木町4 / 17 / 1

牛というエトは、運が向くとどんどん出世していくと言われてますね。

私は、昔からここに住んで、懇親してくる人がいますから、まあ正直者と言いますか、コソコソと積み上げてきた方じゃないでしょうか。

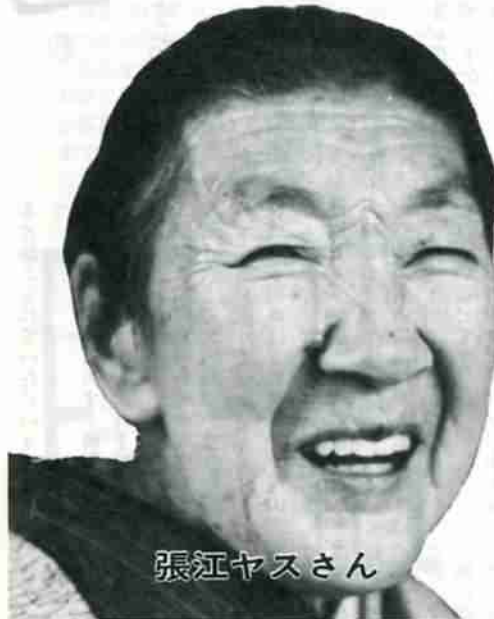
昨年は、登別老人クラブ連合会で佐渡へ行ってきましたが、田村市長夫妻が同行してくださって、佐渡では大歓迎を受けました、大変感激しましたし、一生の思い出になりました。

今年は、老人憩の家の隣りに、大根やトウモロコシの他にアスパラを植えようって計画しています。

今の楽しみですか？どんな天気でも登別にいらいり行くお風呂と昭和三年からしている麻雀ですよ。



石亀弥紋さん



張江ヤスさん

**張江 ヤスさん** 明治27年12月1日生 / 無職 登別町6 / 23 / 3

趣味は編物、肩のこらないちなので、一日中編んでいます。

楽しみは、老人クラブに通うことでしょうか。踊りもみんなに合わせて楽しんでます。

週二回の集りが待ち遠しいんですよ。始めのうちは老人クラブなんて余り好きじゃなかったんですけど、お友達も沢山できましたからね。

健康の秘訣は特にないのですが、強いて言えば、ママに体を動かすことでしょうか。

今年も丈夫でいたいと思っています。

**熊谷 裕子さん** 昭和29年5月24日生 / 幼稚園教諭 常盤町3 / 27 / 6

勤めて三年目、最近やっとな面白味を感じられるようになってきました。

エトは特に意識しませんが、子供と一緒にいますと、一日一日変化がありますから、忙がしい／＼と思ってるうちにここまで来た感じですよ。

結婚はまだ考えていません。まわりの方から「そろそろ、いいんじゃないの」って勧められますけど、でも、お花とお茶それから料理も少し習っているんですよ。

今年も旅行したいと計画しています。昨年はグアムへ行ってきました、お金はかかりましたけど、目標を立てて仕事するのは楽しいですし、旅行は何んと言っても気分転換にいいですよ。



熊谷裕子さん

**佐藤 富士男さん** 昭和5年1月2日生 / 登別交番派出所長 幌別町2 / 15

昨年の四月一日付で赴任、慣れないものですから、まず土地になじむというところで、登別町史などを読んで無我夢中でした。

昨年は、生まれて初めて経験した有珠山噴火、火山灰には振り回されました。



佐藤富士夫さん

残念だったのは七月に起きた子供の死亡事故です。好きな魚釣りも、いつ何が起きるかわからないので、とうとうやらすじまいでした。

今年の抱負ですか？。第一に交通事故ゼロ、そして犯罪のない明るいマチづくりです。

今年も年男ですからね、馬力をかけてがんばりますよ。



笠原悦子さん

**笠間 悦子さん** 昭和17年11月28日生 / 主婦 若草町5 / 6 / 15

忙がしいうちに一年が過ぎてしまったような気がしますけど、昨年は、家族みんなが元気で過ごすことができ、本当に良かったと思います。

今年も、趣味を伸ばそうと、若い時にお花を習っていたので、また始めようと考えています。

二人の子供も、上の子は今年小学校六年生、下の子が一年生にありますが、今年も、今年も目標はまず体に気をつけて、活発な活動の年になりたいですね。

できれば、小旅行でもしてみたいな感じで計画しています。



# 郷土史探訪

21

## ふるさとの伝承と石のまち 「のほりべつ」

登別に住みついた者にとつて、子供の頃から忘れることのない、小山の呼び名があります。これが登別駅の南東に長く続いた台地状の「フンベ山」です。

ちやうど、鯉の形をした山で、昔は海側だけが崖になり、その他は、山すそもあり、現在のように崩れてはいませんでした。

フンベ山の語源は、フンベサバ（鯉・頭）とよばれ、「鯉の頭」の由来を示す昔話（ウエベケレ）が、登別地方に残されています。

昔話や、なぞなぞ遊び（ウレクレク）の多くが、金成マツ、盛木ナミ、豊年やエなどのお年寄りによつて、語られ登別の生んだ偉大な言語学者知里真志保によつて、まとめられたことは、登別市の誇りとすべきことではしよう。

動物起源伝説と共通している点もありませんが、フンベ山の話は、カワウソの神が海を退治する話です。「大昔、天に住んでいた偉い神様が、人間の住んでいた山を、ふと見ると、国のはるか遠い東の果てに、シヨキナの海魔（古く年を経た巨大な鯉のようなものといわれる）が、上のおごは天空すれすれに、下おごは海底すれすれに、大口をあけて海の上を行き来する舟を、人もろとも呑みこんでしまおうと構えていました。

天に住んでいた偉い神は驚いて「誰か海の悪魔を退治して、人間の住む国を救つてやる勇ましい神

はいないか」とおぼせいの神に、相談したけれども、海魔の勢いにおそれ誰一人応ずる者がいませんでした。

その時、カワウソの神が、昔段のいばりぐせて、「カぶん、あれぼつきのシヨキナが恐ろしいのか」といつたので、すかさず神々に、言葉じりをつかまれて、シヨキナを討つ役目を仰せつかつてしまいました。

失敗したと思いましたが、天から降りたカワウソの神は、国の東の果てから、西の果てまで、「里の神よ、刀を貸してくれ」と頼みながら行ったのですが、そつばをむかれました。

ところが、のほりべつの里神の指摘で腰の刀に気付き、シヨキナを両断することができました。

そして、頭のついた半分を、のほりべつの里神に、お礼として、のほりべつの浜に打ちあげ、他の半分は沖のどこかの浜に、打ちあげたのです。

のほりべつの浜に打ちあげられた鯉、これがフンベ山だというわけだ。山すそが、太平洋の波に洗われ、いたフンベ山も、今は形を変えて、むかしは神聖な山で、婦女子が上ることは、固く禁止され酒もあげられ、豊漁を祈り海の荒れを静めるために神に祈り、舟の行方が分らない場合に、首領たちはこの山に登り、鯉神の冥土の助けによって、何でも分ることができると伝えられていたというこ

また、フンベ山のすぐ西側に流れる登別川は、川の流れを時々変えたようです。江戸末期の東蝦夷地海岸図台帳の地図では、ランボック岬の東側のすぐ横を流れています。大正時代にも川口は、前浜（フンベ山からランボック岬までの砂浜）を横流し、ランボック岬の方に流れた時もあります。

町の間をいに東に流れ、フシコベツ（古・川）に流れたのは、かなり古いことです。

登別川の川口が、フンベ山から遠く離れている時は、鮭がたくさ



アヨロから眺めたフンベ山

ん川へ登り豊漁が期待され、フンベ山の西側をすく煮れると、フンベ（鯉）が、鮭を呑んでしまうので、凶漁が予想されるといわれています。この時は、フシコベツ側から、フンベ山の右方に入り、空沢添いに上って行き、山の頂上の祭り場（オンネヌサウシ）に集まると、豊漁の祈りをしたと、語り伝えられています。

フンベ山から、四方を眺めた景色には、素晴らしいものがあります。東の海には、登別漁港の堤防が長く海に突き出し、紫黒色のアヨロ岬の岩壁がびょうぶのように青い海に続いていきます。

また、西南の方向には、遠く鬼山、駒ヶ岳が見え、室蘭のトッカリシヨ、イタンキ岬や鷺岬まで遠望され、ランボック岬から、北に向つて、サツナイ（乾いた沢）の台地状高原が、ライバ山麓まで広がっています。

特に印象的なのは、登別で知られている山の中で、最も古いボントコ山（火山）が、札内台地にはつきり見えるのも、この場所です。

遠く鷺岬岬火山群で知られる、山々の稜線も明確で、オロフレ岳や窟太郎山が程近く見える姿も美しい。さらに、登別の街も一望にして眺めることができます。

フシコベツから、臨海温泉、汐見坂、キムンアイ（山奥の森林）ランボック岬、そして約八百米におよぶフンベ山は、強いヤマセ風をささげ、登別の気候をほど良くしています。

それに、臨海温泉から汐見坂に至る火山灰地帯を除いた、全地域には約十米から二十米程のびょうぶ状の岩壁が囲み、石の町登別をいろどっています。

登別石の生成について、考えてみますと、今から数十万年前にカルルスや、クッタラで火山の大爆発が起き、多くの火山噴出物をしました。カルルス温泉を中心とする盆地は、来馬岳、オロフレ岳、加車山を外輪山とするカルルス火山で、クッタラ湖や橋湖（カルルス温泉の東方）などの巨大な火口からは

大量の火山灰や、軽石が水平に噴き出して、多量の溶岩を流出させ、浅い海や海岸、谷などのあった、登別地区をおおひ、西南の方向には、札内台地をつくり、幌別川上流の蔭の沢（飯山町）に至る、大岩壁もつくられました。

岩の層の下の部分は、紅色をおび、次に紫紅色になり、上部は紫色と変色し、落付いた柔い色で、「登別石」として、全道にその名をひびかせています。

明治四十四年生まれて、六十八歳。今でも元気で石材業を経営している田村武雄氏は、子供時代からの石山育ちで、登別石のことを次のように語ってくれました。

「登別石が生産されるようになったのは、室蘭線が開通した明治二十五年より以前であるが、鉄道が開通してからは、駅のプラットホーム作り、線路の砂利止石、トンネル工事などの、主として、鉄道工事に全道各地へ送られた。

大正になると、都市では、道路倉庫、神社、石塚、灯籠などの需要が多く、農村にはサイロ、かんがい溝などの石材として、「登別石」は、全道にその名が知られるようになり、道央はもちろん、稚内、網走、釧路や函館などの遠方へも送られるようになった。


良い石には、粘り、油けがあり樹木の根目のような石の目があり二米余りの大石でも、矢をいれ矢じめて上手に割れる。

札幌の石切り山の石材は、色も悪く生産量も少ない。仕事に従事する石屋さんの多い時は、百余名を数え、忙しい時は石屋を道内から集め、人夫は青森方面からも集めたものであった。ど当時を語ってくれ、今後もある有望産業であることを話してくれました。（登別市郷土文化研究会）

### ご利用ください カレンダー付 市民憲章を

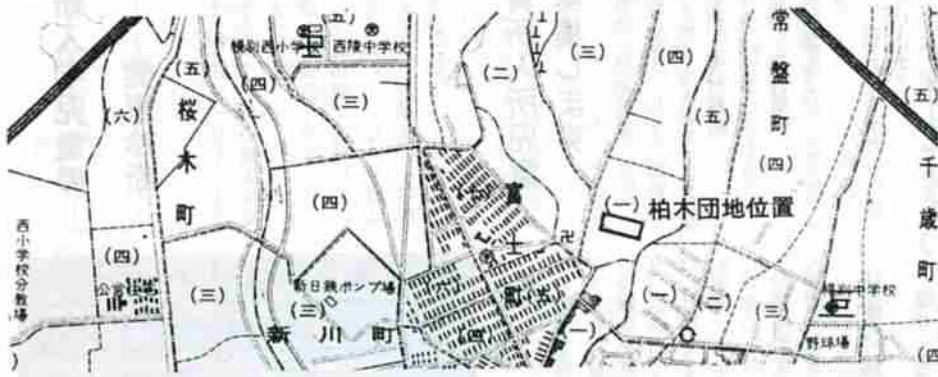
登別市民憲章推進協議会では、憲章文の理解と普及をさせていただくために、新入学児童に憲章文の入った下敷をプレゼントしたり、少しでもゴミのない、きれいなまちづくりをめざし、ゴミ袋を作成し、町内会や団体の諸行事に配付し、大きな成果をおさめてきました。協議会では、これからの活動や、憲章文を市民一人一人の身近なものとして、「カレンダー付ポケット版市民憲章文」を、作成いたしました。

各家庭に、配付いたしますのでご利用ください。なお、希望者には、無料で配付しますので、直接教育委員会社会教育課まで、おいでください。





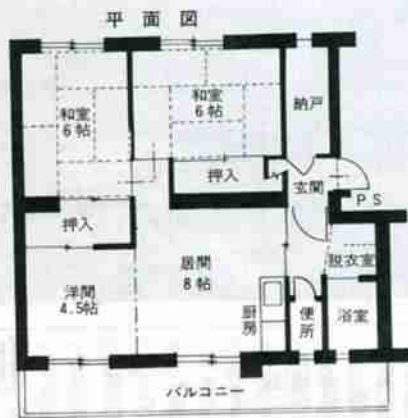
# 市営住宅 柏木団地の入居者募集



現在、柏木町に120戸の市営住宅を、3月末までに完成させるよう工事を進めています。入居を希望される方は、次の要領により、お申し込みください。

◎募集期間 53年1月20日から53年3月10日まで、◎建物の構造 鉄筋コンクリート造り、4階建全戸水洗トイレ、浴室付き（浴槽

と風呂釜は付いていない）、◎規格 1種住宅（3DK）一居間兼台所（洋室8畳間、居室（洋室4.5畳間）、寝室（和室6畳間）、寝室（和室6畳間）、◎家賃（月額）21,800円 ◎入居資格 登別市に住んでいる方、または、登別市内に勤務先のある方で、次の条件に当てはまる方。①収入が別に定める基準内であること。②住宅に困っていることが明らかでないこと。③現在、同居中であるか、同居しようとする親族のあること。単身者は、入居できません。◎申し込み用紙は、市内各支所または市役所建築指導課住宅係（3階）にあります。◎書類の提出は、直接市役所建築指導課住宅係へ提出してください。受付のときに事情を伺うことがありますので、郵送による受付はいたしません。◎入居時期その他 ①入居開始、53年4月1日（予定）、②入居までに用意すること…入居することが決定した方は、次の用意が必要です。①入居請書の作成（誓約書）②連帯保証人を定める。③住宅敷金65,400円を用意する。④入居する月の家賃、◎浴槽と風呂釜は、設置されておらず、入居者において用意していただきます。



申込者及び同居する親族の収入による入居資格早見表（1年間の粗収入）

扶養親族数	0人	1人	2人	3人	4人	5人
収入金額の範囲	1,603,999 1,064,000	1,945,999 1,341,999	2,289,999 1,705,999	2,631,999 2,049,999	2,975,999 2,391,999	3,277,500 2,735,999

◎表の見方（例 親子4人で収入を得る人が1人の場合は扶養親族3人の欄を適用する）

**特別用慰金の請求を**

戦没者の遺族に対し、昭和五十年から特別用慰金（額面二十万円十年償還の国債）が支給されていますが、請求期限が迫っていますので、早目に請求してください。

◎支給対象者  
昭和五十年四月一日で、公務扶助料、遺族年金などを受けられる遺族がいない、次のいずれかに該当する方です。

◎昭和十二年七月七日（日軍華寇が起きた日）から昭和十六年十二

月七日までの間に戦没した方の遺族であること。  
昭和十六年十二月八日以後に戦没した方の遺族で、昭和四十七年四月一日から昭和五十年三月三十一日までの間に遺族年金などの受給者が死亡したとき。  
前回の特別用慰金（国債記号い、ろ号、は号、に号）を受けている。  
前回の特別用慰金を受ける権利があったが、特別によりこれを受けることができなかった。  
昭和四十七年四月一日から昭和五十年三月三十一日までの間に、特別用慰金の受給権のみを取得した。  
戦没者死亡当時の兄弟姉妹までの遺族（二親等まで）。  
昭和二十七年支給開始の特別用慰金を受けているので三親等の場合はその遺族。

◎請求期限  
昭和五十二年三月三十一日まで

◎問合せ先  
市福祉課（電話5局2111内線339）

◎現金寄贈：山名建設様、スナックラベール様、奥秋艶子様、◎物品寄贈：森徳太郎様、照井政雄様、和歌サークルこそで会様、栄町内会婦人部様、松田フミ様、武藤猛様、堀井登様、◎古切手寄贈：銅海様、市役所衛生部保健婦一同様、高庄ガス工業様

## 新民生委員決まる

本市民生委員の任期満了により、新たに十二月一日付で次の方々が厚生大臣の委嘱を受け、十二月五日、田村市長から委嘱状が交付されました。

今回は、人口の増加と福祉要求の対応のため四名増となり、定員が六十五名になりました。

民生委員は、社会福祉の精神で生活保護（医療扶助を含む）老人

- 母子福祉および心身障害者（児）児童福祉などの援護措置の必要に応じ、各関係機関と連絡を密にし、きめ細かい社会福祉の増進に努めています。
- また、民生委員自らも資質の向上を図るために、各種研修をつみながら、よりよい相談相手になるように心掛けています。
- 福祉に關しての相談があります。
- たら担当地区の民生（児童）委員さんにご遠慮なくおたずねください。
- （敬称 略）
- カルス町一四日野謙一、登別温泉町九五小林タニ、同三〇鹿内正敏、同二七菊地敏雄、中登別町二四真崎博善、同八三川仁菊子、登別東町二二五〇二宮城キエ、同三〇三六〇一秋山岩盛、同四一七〇一吉田正成、同二〇一四坂本トシ子、登別本町三〇一和二田正二郎、同二二九相原亮平、富浦町一〇一七〇四志賀典重、幸町五〇二及川春男、千歳町一〇一四一〇一高橋弘司、同六〇三八〇六大内正三郎、札内町三六赤松秀治郎、同二二七渡辺勝男、幌別町三〇一〇二〇三高橋美章、同四〇八〇一中山トキ、同四〇一〇一〇一平塚光雄、同五〇一四〇四八重樫吉三、同六〇二七〇二渡部和子、同七〇一八〇一八〇一八〇一八〇山崎マリ子、同四〇五〇七〇七桐木正晴、同三〇二五〇五中村正勝、同五〇八〇四小林末栄、同七〇六〇一山

ご寄贈ありがとうございます  
ごさいます

社会福祉協議会（愛情銀行）



### 新入学児童の健康診断

昭和五十三年四月一日から小学校に入学するお子さんの健康診断を実施します。

対象者は全員受診ください。※すでに入学通知書を送付してはいますが、まだ届いていない家庭はご連絡ください。連絡先は小学校教育係（電話5局2111・内線353）

### 保育所入所児童を募集します

市立保育所（登別温泉、登別、富浦、本町、富士、川上、鷺別、上鷺別）の入所児童を募集します。

申請書交付・受付期間 一月二十日～一月二十七日  
申請書交付・受付場所 市幼児保育課および、各支所で  
行ないます。

### 保育所別募集児童数

保育所名	3歳未満	3歳以上	定員
登別温泉保育所	-	60	60
登別温泉保育所	-	60	60
富浦保育所	-	30	30
本町保育所	-	60	60
富士保育所	20	100	120
川上保育所	9	51	60
鷺別保育所	20	100	120
上鷺別保育所	-	60	60

実施年月日(曜日)	診断場所	対象学校名	受付時間
昭和53年2月1日(水)	鷺別公民館	鷺別小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月2日(木)	鷺別公民館	鷺別小学校 富浦小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月3日(金)	鷺別公民館	若草小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月7日(火)	鷺別公民館	登別小学校 札内小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月9日(木)	登別温泉支所	登別温泉小学校 カムカム温泉小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月14日(火)	中央公民館	観音小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月15日(水)	中央公民館	青葉小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月16日(木)	中央公民館	観音小学校 観音西小学校	午後1時から1時30分まで
昭和53年2月17日(金)	中央公民館	観音西小学校	午後1時から1時30分まで

### 入所資格

満三歳以上(富士、川上、鷺別保育所は生後六カ月以上)で、次のような児童です。

・母親が昼間家庭外で仕事をした  
り、家庭内で子供と離れて家事以外の仕事をするために保育できない家庭  
・母親のいない家庭  
・母親の出産前後か、病氣・心身の障害で保育できない家庭

### 通学区域を変更します

富岸・若草・鷺別の各小学校

富岸小学校の移転新築にともない、関係する地域の将来的な児童増等を考え、学校規模の適正化をはかるために、三校の通学区域を昭和五十三年四月一日から、次のとおりといたしますので、お知らせします。

富岸小学校：富岸町全域、若山町三丁目、四丁目、新生町全域、栄町三丁目、四丁目、大和町二丁目  
若草小学校：上鷺別町全域、美園町全域、若草町全域  
鷺別小学校：鷺別町全域、栄町一丁目、二丁目

## 市民の声

十一月三日、市では市民表彰を行ないましたが、このなかで善行者の表彰が非常に少ないのではないかと思います。

善行とは、読んで字のごとく、よい行ないをするということですので、今後は次の方々も表彰してはいかがでしょうか。

- 人命救助をした人
- 火事を一番先に通報した人や消火作業に協力した人
- 暴力行為を目撃して、警察に通報した人
- 日本赤十字社に献血をした人
- 日本赤十字社に献血をした人(たとえば五十回以上の人)
- 柔道スポーツ少年団を指導している先生方

## 他に見られぬ強い自治意識

### 桜力丘町内会

鷺別川をはさんで、室工大を眼下に見下ろす高台地区。十年前に傾斜地をけつづつて造成した桜力丘団地。これが桜力丘町内会です。

狭い道路、急な坂、そして市街地から遠距離であるため、町内会が発足した昭和四十二年から、四年くらいは、道路、水道、防犯、ゴミ、し尿収集など生活環境整備が大きな問題でした。

このため、早くから、自治意識が高まり会長以下全町民が、積極的な町内会活動と取り組んでいます。

おかげで、道路舗装も完了、水道問題や通学問題も解消しました。町内会が目標としていることは公園を造成すること、

班毎に備えられている消火器



また、この町内会では、空地や電柱に消火器が所要所に、備えられ、自衛意識の高さに、感心させられます。こうした積極的な活動が消防長表彰に結びつき、自らの生活を守ることに繋がっています。世帯数八四人口・二四六、会長高瀬荘太郎(美園町6/37)

善行者の表彰につきまして、貴重なご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、善行賞は人命救助・災害など危急の際の献身的行為または、公益上特に有益な行為に対して行なっています。しかし、善行賞が少ないとのご指摘につきましては、文化・スポーツの分野でご活躍の方には教育文化貢献者として表彰していますので、善行賞が少ないように感じ

られたかと思えます。また、献血者に対する表彰につきましては、単に市独自の問題でなく、広く全国、全国的な問題です。日本赤十字社、室蘭献血センターおよび登別市献血推進協議会で表彰並びに感謝状の贈呈を行っています。しかし今後は、市でも十分検討いたします。なお、表彰に対するご意見、ご要望は総務係(電話5局2111・内線206)にご連絡ください。

つきましては、市民の方で昭和47年以前の雑誌をお持ちの方は、図書館にご寄贈くださるようお願いいたします。「中央公論」「文芸春秋」「世界」など総合雑誌のほか、文芸誌、科学誌など何でも結構です。みなさまのご協力をお願いいたします。冊数が多く、お持ちになれない場合は図書館(電話5局4324)にご連絡ください。おかげが

## 雑誌を寄贈ください

市立図書館では、新聞、雑誌などの刊行物を保存するため、3階に雑誌用書庫を設置しました。現在、保存している逐次刊行物は昭和47年図書館閉館以後収集してきました。各種雑誌70誌、新聞6紙そのほか北海道新聞および朝日新聞の縮刷版です。しかし、閉館以前に発行された雑誌などについては、すでに入手困難な事情もあり、まだ整備されていません。



## 新春経済講演会 へどつぞ

ニース解説委員、館野守男氏  
 ◎日時 一月二十六日午後一時～三時十五分  
 ◎場所 登別商工会館  
 ◎入場料 無料  
 ◎主催 登別商工会議所、登別法人会  
 ◎後援 登別青年会議所  
 ◎問合せ 登別商工会議所（電話④4111）

低成長と円高時代の日本経済についての、これからの見通しについて、わかりやすい事例を参考に、講演を行います。  
 みなさまの積極的な参加を、お待ちしております。

◎講師 経済評論家、元NHK

## 成人をお祝いしよう

登別市では、新たに成人として果立つ若人の輝かしい前途を祝って、市総合体育館で、式典と祝賀パーティを開きます。

当日は、各団体の代表もお祝いに出席されることになっていきます。成人該当者は、今回から学年齢別になり、昭和三十三年四月一日までから昭和三十三年四月一日まで生まれの方まで、案内状は年賀状として送付してありますが、もし届いていない方は、市福祉事務所福祉課青少年福祉係（電話③2111）内線339・340へご連絡ください。

日程は次のとおりです。

◎期日 一月十五日 ◎場所 登別市総合体育館（若山町二二六）  
 ◎受付 午前十時三十分 ◎式典 十一時～十一時三十分 ◎祝賀パーティ 十一時三十分～十二時  
 ※当日は、幌別駅西口から専用バスを運行します。幌別駅西口発時。

## 若い有権者のみなさんへ

ことしも、八百数十名のみなさんが、「はたち」の仲間入りをします。そして、みなさんが選挙権をもつようになりませんが、さて、

## 節約セツちゃん



次の表をご覧ください。  
 これは、昨年七月に行われた参議院議員選挙における標準投票区（中央公民館）の、男女別、年齢別投票状況です。

この表を見ても、若い世代（特に二十代の男子）の投票率が、極端に低いことがわかります。  
 このことは、単に登別市だけではなく、全国的な傾向だと言われています。

では、なぜ若い人達の投票率がこんなに低いのでしょうか。中には住所をそのままにしておいて、仕事や勉強に出かけていて、実際には居住していない、という人もいます。しかし、それ以外に、誰

## 市長動静

11月28日～12月10日

選挙管理委員会

▽11月28日 安藤建設札幌支店から、市民会館建設基金の寄贈を受ける。市立小中学校長と懇談。市議会市民クラブ議員団から五十三年度予算に対する要望書の提出があり協議する。▽同29日 胆振支庁長の来庁を受け、懸案事項について協議。▽同30日 虹田町長岡村正吉氏の来庁を受け、有珠山噴火の近況などについて話し合う。▽12月1日 第九回歳末たすけ合い市民演芸大会に出演。木更津甚句・ソーラン節を披露。▽同2日 登別観光協会役員と懇談。午後から室蘭市内官公庁の挨拶まわりを行なう。▽同3日 11ペレィポールワールドカップ77登別大会反省会に出席し、大会役員並びに関係者の労をねぎらう。引き続き商工会議所青年部主催年忘れチャリティパーティに出席。▽同4日 登別市中央公民館で行なわれた第三回市民憲章推進会議に出席。▽同5日 備大林組札幌支店から市民会館建設基金の寄贈を受ける。公明党登別市議会議員団から五十三年度予算に対する要望書の提出があり協議する。午後、新民生委

員六十五名に対する委嘱状の交付を行なう。登別地区労働共闘会議代表者の来庁を受け「いのちとくらしを守る要求書」の各種項目について説明を受ける。あわせて全道労協が行なった有珠山噴火カッパの被災地配分見舞金を受ける。午後六時三十分から登別町内会連絡協議会との懇談会を開催。地域住民と意見交換。▽同6日 神道路建設、兼中興業から市民会館建設基金の寄贈を受ける。定例記者会見を行ない十二月定例会議案件を説明する。午後、課長会議を招集し、五十三年度重点政策などを発表。午後六時三十分から上登別連合町内会との懇談会を開催。地域住民と意見交換。▽同7日 広報のぼりべつ新春号編集のための市民代表との座談会を行なう。午後、町内会長会議を開催し、五十三年度予算編成方針、世論調査集計結果などの説明を行なう。▽同8日 十二月定例会議を招集。▽同9日 定例会議（二日目）▽同10日 登別建設業協同組合代表から同組合の創立による、知事認可受領の報告を受ける。午後、室蘭民報社主催の室蘭、伊達、登別三首長会議に出席。

登別地区での対話集会で説明する田村市長

## スポーツ短信

カルルススキー場 一月日程  
 ◎一月三日 市民スキースクールレディズスクール  
 ◎一月十五日 鳩崎杯市民スキー大会兼道民スポーツ選手会  
 ◎一月二十九日 基礎スキー研修会  
 スキー場のコンディショニングは、カルルススキー場（電話01438④2873）へお問い合わせください。



## 指名願いを 受け付けます

五十三年度の土木・建築工事市では、昭和五十三年度の土木および建築工事業者の指名願いを次のとおり受け付けます。

▽申請書 申請書の様式は、北海道指定様式に準じます。  
 △受付期間 第一次 一月二十日から三月十日まで、第二次 四月二十日から五月三十日まで  
 △問合せ先 財政課管財契約係（電話5局2111内線217・252）



# 食事の面倒も大変です

上別から転居、6年たちました。夫婦と2人の女の子(中2と小6)の4人家族で、夫は会社員、私は室蘭工業大学の学生さん9人の食事の面倒を見ています。  
夕食ですが、午前中に市場と生協で仕入れてきて、午後の2時半頃から、食事の準備を始めます。1食340円で献立を考えなければならぬので、最近の物価の値上りや、学生さんの好みも考えなければならず、大変です。でも、自分の家と同じようにお茶を飲



みにきてくれたり、親しく話合えるのでうれしいです。  
私たちの住まいは、室蘭工業大学が眼下に見おろすことのできる室蘭市と隣接した、はずれの団地にありますので、いろいろと不便ですが、道路舗装が完了し、水道の出が良くなって良かったと思っています。ただ、くみ取りやゴミの車が、上まであがってきませんので、せめて中段ぐらいだけでもいいから登ってほしいと思います。  
登別は近くに温泉がありますので、1年に一度新年宴会などで利用でき、楽しみにしています。  
(美園町6-48-2 大西まさ子さん)

## 3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児検診を無料で行ないますので、対象者はもちろん受診してください。

- 内容 心身の発育状況、歯科検診、栄養指導、生活指導など
- 対象者 昭和49年9月1日から昭和50年1月31日までの出生児および、前回対象児(昭和49年2月1日から8月31日までの出生児)で、受診していない児童(満4歳になった児童は除く)
- ※当日尿検査がありますので、会場でさせていただきます。
- ※母子健康手帳を持参ください。※検診は約2時間かかりますのでご承知ください。

### 3歳児検診日程

月日	実施場所	受付時間	対象地区(町名)
2月8日	中央公民館	10:00~11:00	中央・観別・常盤・藤・新栄・川上・末馬・釜山・青葉
		13:00~14:00	赤・千歳・柏木・富士・川倉・新川・桜木(大和)(若山)(札内)
2月9日	鷺別公民館	10:00~11:00	鷺別・石草・富岸・大和
		13:00~14:00	美園・若山・新生・栄・上鷺別
2月10日	登別公民館	13:00~14:00	カールス・登別温泉・中登別・上登別・札内・登別本・登別南・登別港・高瀬

## 赤ちゃん検診

- 内容 診察、計測、栄養指導、生活指導。●用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル。●日程 1月24日=登別公民館(受付時間12時15分~12時30分)登別・登別温泉地区の昭和52年9月・10月出生児、1月25日=中央公民館(受付時間12時~12時30分・中央地区の昭和52年10月出生児)、1月27日=鷺別公民館(受付時間12時~12時30分・鷺別地区の昭和52年10月出生児)※終了時間は3時頃になります。

## 健康相談

- 実施日・場所 1月9日…鷺別公民館。1月19日…中央公民館。1月23日…登別公民館。●受付時間 午前の部…10時~10時30分 午後の部…13時~13時30分。●内容 午前…成人病相談・妊婦相談・家族計画相談・幼児相談(1歳以上)。午後…赤ちゃん相談(6カ月・9カ月児)・その他相談のある乳児(1歳未満)。●用意するもの 母子健康手帳、バスタオル換えオムツ ※午後の部の終了時間は3時頃になる予定です。※貴重品等は会場にもってこないでください。

## 家庭児童母子相談

- 相談日・場所 1月19日(木)・福祉事務所相談室(定例日=毎月第3木曜日)1月20日(金)・鷺別公民館(定例日=毎月第3金曜日)
- 受付 午後1時~3時30分
- 相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視聴覚障害、言語障害、心身障害、児童施設入所、母と子の悩み、その他相談  
※相談希望者は事前に、市福祉事務所福祉課青少年婦人福祉係に、ご連絡ください。(電話②11-内線340)

## 予防接種

- 接種上の注意 母子健康手帳を持参・接種前日は入浴し、当日は清潔な肌着を着用・体温は必ず家で計ってくる・子供の健康状態の良好な時に接種する・接種前後に激しい運動をさせない・できるだけ母親が付き添う。
- 次に該当するときは予防接種は受けられません 発熱している人、または著しい栄養障害者・心臓、じん臓、肝臓の病気がかかっている人・アレルギー体質または副反応をおこしたことがある人・接種前1年以内にけいれんの症状をおこしたことがある人・種痘、BCG、はしか、ポリオの予防接種を受けて1カ月

過ぎていない人・はしか、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜが治って1カ月を過ぎていない人。

- 対象児 三種混合=第1期…生後24カ月以上36カ月未満 第2期…生後36カ月以上48カ月未満 ツベルクリン反応=生後3カ月以上48カ月未満の未接種者 BCG=生後3カ月以上48カ月未満でツベルクリン反応が陰性だった人

場 所	時 間	予 防 接 種 名		
		三種混合	ツベルクリン反応	BCG
ひまわり園	13:00~13:30	1月25日		
鷺別公民館	13:45~14:15	1月25日		
富浜児童館	13:00~13:30	1月24日		
登別公民館	13:00~13:30	1月25日		
登別温泉公民館	14:00~14:30	1月24日		
中央公民館	13:00~13:30	1月19日		1月19日
		2月9日		2月9日
		2月23日		2月23日
商工会館	13:00~13:30		1月17日	
			2月7日	
			2月21日	

## 母親学級に参加しませんか

### 昭和52年度第4回母親学級日程

月日	1	2	3	4	5
会 場	中央公民館	中央公民館	商工会館	中央公民館	商工会館
時 間	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00
担 当	産婦人科医 広瀬欽也	小児科医 深瀬政俊	歯科医 宮武忠史	助産婦 佐藤サス子	保健婦
内 容	妊娠中の生理と分娩経過	新生児の生理・児の発育の育児の考え方	妊娠中の歯の衛生に関する知識・分娩の準備	赤ちゃんのオフロ産後の生活と家族計画	妊婦体操
	妊娠中の保健(保健婦)	妊娠中の栄養のとり方(栄養士)	子供の育て方(保健婦)		

妊娠ともなう不安の解消、出産にむけての心身、物品の準備のお手伝いをします。  
受講希望者は、早めに申し込みください。(定員100名)  
申し込みは、5回(1コース)連続受講できる妊婦の方を対象とします。  
●受講申込先 市保健衛生課(電話5局2111、内線244)

## 初の漬物コンクールを開催します

- 日時 一月二十五日(水)午後一時三十分~午後三時
- 場所 中央公民館二階ホール
- コンクール部門 かつづけ部門、こうじづけ部門、たくわんづけ部門、魚づけ部門、その他部門
- 出品数・出品量 一人二部門まで、一部門一皿分
- 出品方法 一月二十日まで、教育委員会社会教育課
- 21日午後一時まで、電話等にて申し込みをし、一月二十五日午後一時までに、漬物を持参する。
- 審査員 十名
- 賞 部門ごとに二位・三位賞を授与します。●出品者全員に参加賞を贈ります。
- 当日は、多くの市民の試食をお待ちしています。
- 問合せ 教育委員会社会教育課(電話②11-内線352)

日本の古くからの、「ふるさと」の味として代表的なもの、漬物です。市教委では、わが家秘伝の漬物や、長い間継承されてきたおぼろちゃん自慢の漬物、また、若いお母さんの珍しい漬物などを持ち寄って、次のおりコンクールを開催し、お互いの意見交換を行いますので、隣り近所お誘い合せて、ぜひ出品し、参加してください。